

第2回

嘉麻市学校施設整備審議会

資料

平成30年8月2日（木）

児童生徒・教職員数

小学校：597名 中学校：287名 合計：884名（各学年3学級）

職員数：約80名

施設概要

施設用途 小中一貫校、交流センター、児童センター

敷地面積 39,032㎡

工期 平成28年9月30日～平成30年1月31日（約16か月）

総工事費 約56億2千万円

諸室概要

小中一貫校 普通教室、多目的教室、特別支援教室

特別教室 理科室（3室）、被服室、調理室、家庭科室、パソコン室（2室）、図書室、技術科室、図工室、美術室
音楽室（2室）

管理諸室 校長室（2室）、職員室、事務室、保健室（2室）、会議室、相談室、カウンセリング室
教師コーナー、多目的室（各学年）

その他 給食調理室、ランチルーム（2学年、200名対応）

体育館 大アリーナ（バスケットボールコート×2面）、小アリーナ（武道場兼）

視察の際の主な質疑と回答

1. 共有施設（備品）の高さ対策等について

⇒小学校部分と中学校部分で高さ等を変えて対応（建築基準法、学校施設整備指針に準ず）

2. 児童生徒の送迎対応について

⇒児童生徒の安全を優先し、送迎は原則禁止（許可書対応）

3. 小・中学校の生活時間の区切り方について

⇒チャイムを3系統に分割（小・中・共有）、それぞれに音色を変えて対応

4. 「乗り入れ授業」の実施状況について

⇒開校間もないため、1学期は英語科の一部で実施。今後、教科を増やしていきたい。

5. 職員室を合同にすることについて

⇒特に5年生から7年生の担任の机を近くに配置し、小学校から中学校への引継ぎを行いやすくしている。

小学校の教員は児童の成長を身近に感じられる。中学校の教員は、小学校時の生徒の状況を確認しやすい。

日常的な教員同士の情報交換が行いやすい。

6. 社会教育施設が併設していることについて

⇒出入り口は別々に配置し、動線は完全分離を行っている。

週1回交流センターと学校で打合せ会議を実施している。

7. 小中が校舎を共にする効果について

⇒中学生の意識として、小学生のお手本になる気持ちや通学の際の小学生の安全確保等の意識が高まっていると感じる。

合同職員室



廊下にベンチ設置
児童生徒の憩い空間



図書室内読み聞かせコーナー



児童センター（学童）入口



交流センター（公民館）入口

